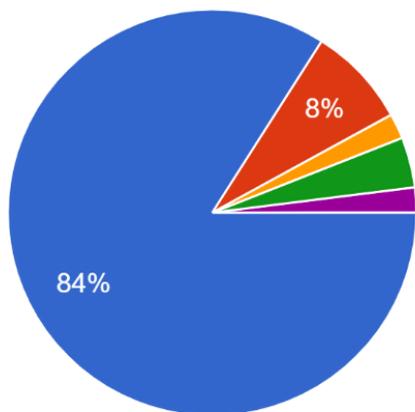


Q1. 研修受講後の理解度（読めばわかる）について、当てはまるものを選択してください。

50件の回答



- ガイドライン（確認の視点と評価基準）に沿ってケアマネジメントの過程を点検し、自らの気づきがあった。…【42】
- ガイドライン（確認の視点と評価基準）に沿ってケアマネジメントの過程を点検できたが、気づきを得るところまでには至らなかった。…【4】
- ガイドライン（確認の視点と評価基準）に沿って点検を行ったが、一部わからないところがあった。…【1】
- 点検項目と評価基準を中心に点検を行い、確認の視点の活用が十分ではなかった。…【2】
- 実際にどのように点検したら良いかほとんどわからなかった。…【1】

Q2.Q1で「自らの気づきがあった」と回答された方は、「気づき」について教えてください。

41件の回答

1	アセスメントの必要性やICFの本人参加の視点など。
2	外部の研修に出る機会が少ないため、ケアプランが我流になっていると気づいた。
3	ニーズを一つにしない(ケースによる)。評価とモニタリングの違い再確認、目標期間を一律にしないなど再確認できた。
4	アセスメントの見直しを定期的に行なうことで、利用者の状態変化が把握できる。ガイドラインに沿って、定期的に見直す機会を持つようにしようと思いました。
5	アセスメント不十分であった
6	家族の意向に関して、身寄りがない方の場合、後見人がいれば記載していたが、知人や友人の意見は反映していなかった。 生活援助中心型が該当しない場合も理由を書く。 福祉用具を必要とする理由を担当者会議のまとめにのみ記載していたが、第二表に記載したほうが、目にとめやすいかも?と思った。 介護報酬の加算項目をケアプランに位置付けることは忘れがちなので、まさに点検だと思った。
7	アセスメントの不十分さから、2票のサービス内容があいまいな表現になっているところがあった。
8	日頃の業務で「慣れ合い」になってしまっている部分を再確認することができた
9	ひとつひとつ丁寧にアナウンスがされていたので、自分のケアプランについて振り返りがしやすくなった。
10	書き方についての再確認
11	各項目の視点や不足している点など再確認できた。
12	アセスメントでの情報収集、情報分析の重要性。
13	出来ていない事は無かったが、その中でのレベル?(評価ABCD)はもう少し頑張る必要があった。評価のAは、「アッそうか…もう少ししっかり確認や話をすればよかった…」と言う事が多く、評価Aが取れる様に工夫すれば、アセスメントがよりしっかりできてその人らしい計画書や、チームでの支援確認がスムーズに行えるんだ…と感じました。
14	アセスメントからプランに明記する際に、生理的欲求、安全欲求で構築する傾向が強く、クライアントの社会的欲求や承認欲求、自己実現欲求の整理が乏しい。生活を組み立てること以外に「人生」や「生きる」ことにもっと着目していくことで、より当事者が主体的に自らの課題に向き合って主体的に課題解決に向かえるのではと感じた。
15	計画書に記入できていないところがあったので、今後気を付けたいと思った。

16	ケアプラン点検の研修はたぶん初めてで、評価基準はガイドラインに沿って行うとか。ケアプランの表記法など、自分の作ったプランで修正が必要なところが具体的に分かった。あと具体的だったので、すぐに修正することができ、ケアプラン点検(自己評価)の必要性を感じた。
17	それぞれの項目別に評価基準が定められている事で自身で作成したアセスメント、ケアプランで不足している点を確認する事が出来た。
18	目指すべき方向性が確認とれるような内容となっているかどうか改めて考えさせられました。
19	自身のアセスメント不足
20	自分の視点と基準との違いがありました。特にアセスメント領域でありました。
21	点検項目 18 に対して理由をいろいろ記載するのではなく簡潔明瞭に書き必要な理由については()で書き添えることがわかりました。
22	アセスメントの足りないところや、ケアプランで抜けている部分を見つけることが出来た。
23	評価基準に沿ってケアプランを見直すことでケアプランの中の足りない点や不備がよく分かった。
24	自分の考えややり方と違う事があり、改めて理解する事が出来た。
25	点検を行うことで 情報収集が不十分なところがあったことが判った。
26	ガイドラインに沿っていないケアプランで自己満足していたプランになっていると気づきました。
27	誰にとっての計画かが混乱していることがあることが分かった。
28	利用者はどのようなことならできるのか、どうすればできるのかを具体的に聞き取る姿勢がベースにあり、それは相手と真摯に向かい合うことに他ならないと改めて気づきました。真摯に向き合えていなかったと反省です。
29	研修で確認の視点と評価基準を学ぶことで、自身の認識の間違いや、日々のケアマネジメントにおける足りていない部分に気付くことができた。
30	こまめな他者評価の重要性
31	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の生活の寄り添う事が大切。困っている事から、ケアプランを作成するものだと思っていたが、どのように暮らしていきたいかが前提である事が気づきました。この基本を忘れずに仕事を進めて行きたいと思いました。 ・ケアプランは画一的な内容ではなく、個別性を踏まえたものであるべきという事を気づきました。 ・利用者本人を中心に各職種が知恵を出し合い連携するケアチームで成り立つという事が良く理解できました。
32	医療機関の MSW から情報を得たが、療養上の留意点を聴取したつもりであったが、具体的に確認できていなかったということに気が付いた。
33	退院後のケアプランで医療機関から情報を得たが、自宅とは動きが違うので、具体的な ADI の状況の聞き取りができていなかったということに気が付いた。
34	本人の「できること」「できないこと」「できそうなこと」の聞き取りが不十分であったことに気が付いた。
35	点検項目毎に確認の視点を読み込むことで、自分の不足していることに気付くことができた。
36	自己判断で行っていた期間の設定や、目標、課題等の内容について見直すことができた。
37	主治医の意見をプランに入れるなど、出来ていない部分の見直しになった。
38	ガイドラインがあると漏れがなく点検することができるため
39	詳細までのアセスメント不足
40	自分でできていると思っていても、今回の研修で細かいところの部分ができなかったり、というところがあった。
41	これまでも点検は実施してきたが、主観的な視点に基づいたものであった。何のために点検しているかという次元に戻らなければならないことに気付いた。

Q3.今後のガイドライン見直しの参考のため、わかりにくい表現等について、具体的な項目で教えてください。

11件の回答 ※特になし等は除外

居宅サービス計画書(2)長期目標 →ICFの「参加の視点」
特定施設でケアマネをしています。今回初めてケアプランの点検を研修しました。まだひとつひとつの項目についてじっくり読み込んでいません。
表現云々以前に時間が足りなかったと思います。
緊急時の対応方法について。介護者が突然介護できなくなったとき、誰が介護に携わるか、ショートステイ等の利用で対応するのか等詳しく記載するほうがよいのか。
かみ砕いての記載であったので、わかりにくい表現は特になかった。ガイドラインをどう事業所内で共有するかを自分自身の課題としたい。
ケアプラン点検表 7
ガイドラインは予防版 施設版があるとの事。研修会も分けて開催して下さるとより分かりやすいと思いました。各事業所が利用しているツールがありますが、すべて共通ならより使い勝手が良いな…と思いましたが実際、今私の事業所が使っている物も全く一緒ではないので、どれが居るのか要らないのかわかりにくく統一できると良いな…と思いました。
悪い例ももっとあげてもらってもわかりやすいかと思います。
必要か必要でないか、簡素化できるか詳しく記載した方が良いかなどの例
研修を受講する上では、わかりにくい表現はありませんでした。
現状で問題ないと感じました。

Q4.「ケアプラン点検」について、日ごろ感じていること・悩み等を記載してください。

41件の回答 ※特になし等は除外

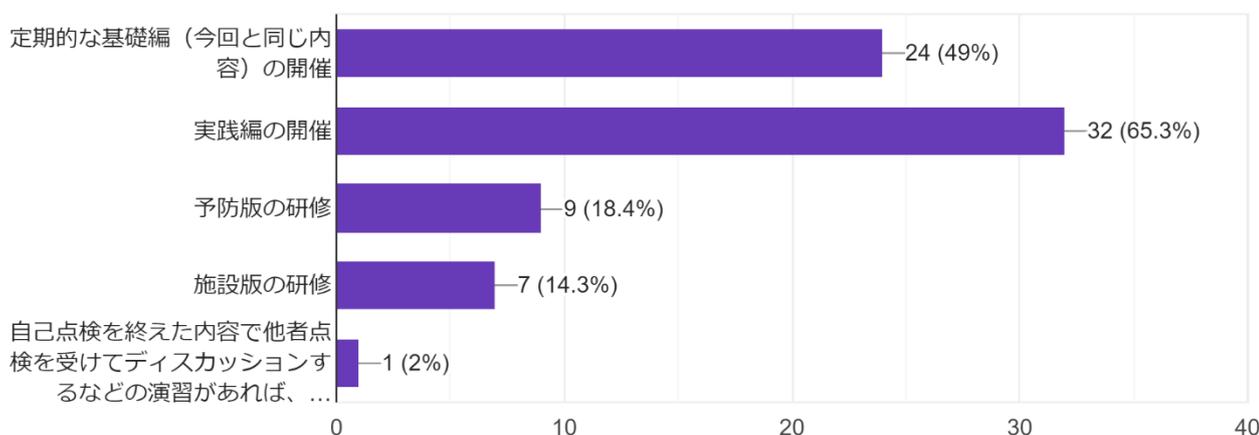
1	ご本人や御家族様の関係性や感情に配慮するとプランに載せるのが難しいことがある。
2	点検をする時間がなかなか取れない。
3	時間をとって事業所で行うことがなかなかできない。
4	今後ケアプランの点検を定期的に行っていきたいと思います。現在事業所内にケアマネ業務をしている者は私以外いません。資格を持った他の職員とも協力し自分のケアプランを点検していけたらと思います。計画書(2)に目が行きがちです。アセスメントをしっかりと実施することでよりよい2表になると今回特に感じました。
5	この項目は本当に必要なのか？と考える項目が多少なりともあります。
6	自分の作成しているケアプランが良いのかどうか自信が持てない。 ケアプラン点検は行ったほうが良いと思うが、実施に至ることが出来ていない。
7	自己点検の時間を取ることが難しい
8	つつい後回しにしてしまう…自主点検や研修の機会にしかない。業務として組み込むところまで行っていない。
9	定期的に活用し、自己評価・他者評価ともに行う必要があると思っているが、なかなか時間がない。
10	「忙しさ」を言い訳にしている自分自身が情けないです…。
11	事業所内で定期的にケアプラン内容等の共有を行うようにしているが、ベースとなるものがなく、悩んでいた。今回ガイドラインを確認し、共通認識としてとらえる機会になるかと感じている。

12	表現をうまく表すこと
13	事業所内でケアプラン点検がなかなか実施できていませんが、年一回は行いたいと思います。
14	こまめな点検ができていない。他者点検もあまり実施できていない。
15	短期目標とその期間設定が難しい。
16	取り組むポイント項目がしっかりとあると、アセスメントがよりしっかりできて、思いや希望、その人らしさをより深く掘り下げられて良いと感じました。居宅への引継ぎ（私は包括なので）に利用して行けば、よりその人らしさが引き継げるように感じました。ただ、要支援の方にあれこれ聞いたり、独居の場合離れた家族からの聴取は本人が拒否される傾向にもあり難しいな…と感じています。
17	現に直面している悩みではないが、一部保険者によって福祉用具の必要性をプランに記載する記載する場所（ニーズの欄に括弧書きする）の指定があることを伺っている。利用者の生活の場所や保険者が異なれば同じ府内でもプランでも記載の仕方や是非があることが当然とされるのか、それは望ましくないのかの見解が示されたらと考えることがある。
18	書く言葉の例文があればいいと思う。書き方に悩むことが多い。
19	事業所として点検の取り組みがない事。
20	課題整理総括表やケアプラン点検を日頃の業務に取り入れたいと思っはいるが時間の余裕がなくつい後回しにしてしまいそのまま出来ていない事。
21	はっきりとした答えがない分、これでいいのかと悩むことが多いので、点検をして自信につなげるようにしたいと思います。
22	ケアプランについて主治医に意見を求めても意見なしと返答の時がある
23	課題整理総括表は日常的には時間的な問題もあり活用できていないし、活用の仕方わからないです。ケアプランを点検する、という視点もなかなか身につけていないです。
24	ケアプランについて、常に点検し、改善もしたいと思っているが、他の作業に追われて後回しになり、結局出来ない事が多い。
25	事業所でケアプラン点検を年間の計画に入れていても日々の業務に流されできないことが多い。
26	どこまで記載するのか、簡素化できるのか教えて欲しい（簡素化したい）
27	自己点検・事業所でのケアプラン点検の時間の確保が難しい。
28	事業所内で、事例検討会などの時にはプランをよく確認、再点検して提出していますが、それ以外で、自分のプランを点検する機会を率先してしていなかったため、良いプランとは言えません。時間が無いということに理由はしたくないのですが、点検の時間は作っていきたいと思います。
29	ケアプラン点検が必要であることは理解できるが、現場とケアマネ業務兼任ではなかなか時間が作れない。通常業務も溜まっており、なかなか解消できない。
30	ケアプランについて話し合おうとすると、間違いを指摘されているように感じるのか、抵抗にあうので、なかなか実現しませんでした。保険者によって、取り組み姿勢も異なるので、なおのことだと感じています。
31	月1回実施しています。なかなか奥が深いです。
32	毎月1回事業所ですしています。できていないことに気が付くことは多いが、次にうまく生かすことができない。
33	毎月事業所内でしていますが、評価基準の判断に悩むことがあり時間がかかる。
34	毎月実施しているけれどもなかなか次のマネジメントに活かすことができず同じことを繰り返しているの、何とかしたいと思っている。

35	課題や目標を読み取る事ができても、文章として表現する際につい長文になってしまったり、明確な表現ができていない事が多い。
36	○本人の意向を言葉で表現する時、どの様な書き方で書き、それが課題とうまく連携出来るのか、書き方で悩むことが多い。 ○長期目標期間、短期目標期間の表現をどのように行けばよいのか迷う事がある ○一人ケアマネで、他者の目が入る事が無いため、画一的なケアプランになり、違った視線があるのではないかと常に感じている。
37	貴重な講話ありがとうございました。受講させて頂くと見直しの機会となりありがたいです。なかなか点検がしっかりできるような業務管理ができていないと痛感しながらできることから取り入れているのが現状ですが、同じ感想では進歩がないのも自覚しており、工夫については検討をしていきたいと考えています。ありがとうございました。
38	当たり前に行っていることの見直しに役立つが、改めて点検にあてる時間ない。
39	ケアプラン・アセスメントに対するケアマネ間でのモチベーションの違い
40	ケアプランの点検の内容が完全に頭に入っていればいいのですが、どうしても忘れてしまっていることもあるので、何とか時間をつくって定期的読みこんでいければと思いました。
41	点検項目が1～50まであり、ひとつずつ網羅していくことに時間を要すること。

Q5.「京都式」ケアプラン点検ガイドラインを活...修について、今後どのような研修を望まれますか？

49件の回答



Q6.研修や「京都式」ケアプラン点検ガイドラインに関する質問があれば記載してください。

6件の回答 ※類似する内容はまとめ、特になしやガイドラインと直接的に関係がない内容等は除外

1	小規模のケアプランと居宅介護支援事業所のケアプランと違いがあるのでしょうか。 アセスメントからケアプラン作成、モニタリング・評価の考え方は同じです。計画書も居宅サービス計画書を使用される場合と、小規模独自の物を使用されているところもあるようです。
---	--

2	<p>グループワーク丸投げで二～三分の沈黙があり皆困ってました。無理にWEBでやるより動画配信で事足りる内容だったと思います。</p> <p>川添講師も事務局の方も大変だったことは重々承知をしたうえでの意見ですが見切り発信より中止して万全の体制で講習という選択肢も含め、今後よりよい講習につながる事を望みます。</p>
	<p>ご意見ありがとうございます。今後の運営の参考にいたします。</p>
3	<p>短期終了時の評価方法について。書式が無いのでモニタリング実施時に支援経過へ記載することで代用と見なしても構わないでしょうか。</p> <p>評価表について統一した様式がないことから平成26年に課題整理総括表と評価表の様式が出されました。この評価表を使用する、またはモニタリング表に合わせて書く、居宅介護支援経過に書く…等、方法は限定されていませんが、短期目標終了時の評価をしたことが分かれば良いと思います。</p>
4	<p>点検項目⑥のB評価基準で「アセスメント表及び居宅介護支援経過等にケアプラン作成に繋がるポイントについて記載」とあるが、支援経過記録に記録しているだけでも良いのか。</p> <p>ご質問ありがとうございます。居宅介護支援経過記録に記録してあれば大丈夫です。「及び」ではなく「または」が正しいです。次回訂正しておきます。</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にケアプランについての研修を開催してもらえたらと思う。 ・何度も聞いて自分の中に取り込んでいきたいと思います。従って研修は何度でも聞かせて頂けたら有り難いです。
	<p>ありがとうございます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。</p>
6	<p>アセスメント情報分析において、原因と要因両方検討するのでしょうか？それとも要因のみ検討するのでしょうか？</p>
	<p>ケアにおいて対応可能なことが多いのは「要因」です。原因は健康状態との関連も深いと思います。できましたら現在の状況において「原因」と「要因」の両面を把握されると良いと思います。ケアプランにおいては、「原因・要因を取り除くケア」を考えていきます。</p>

以上